

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで

世界が目指す目標

明石がつくる未来

SDGs

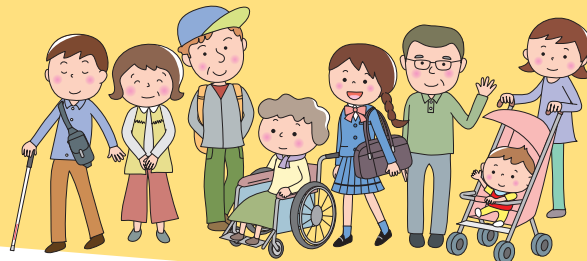
×

明石市

エス・ディー・ジーズ

Sustainable Development Goals

の略称で、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。SDGsには、17の目標があります。



SDGsの大切な考え方

SDGsは、持続可能で、「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指し、環境・社会・経済にまたがる広範な課題に、統合的に取り組むとされています。また、全てのステークホルダー※（先進国、途上国、政府、地方自治体、民間企業、NPO・NGO、学術機関、各種団体、住民など）が協力しながら取り組むことが大切とされています。

※ステークホルダー：関係者

誰一人として
取り残さない

今だけじゃなく
未来も大切

環境・社会・経済
の調和

みんなで
取り組もう

SDGs17
の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



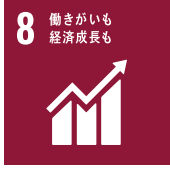
5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



いつまでも 持続可能

まちの好循環により、明るい**未来**につながる**サステナブル**(持続可能)なまちづくりに取り組みます。

すべての人に 誰一人として取り残さない

年齢・性別・国籍・障害などに関わらず、すべての人が**安心**を感じられる**インクルーシブ**(誰一人として取り残さない)なまちづくりに取り組みます。

いつまでも

みんな

すべての
人に

やさしい
まち



誰もが住みたい・住み続けたいと思うまちへ

やさしいまち やさしい社会を明石から

環境・社会・経済の統合的向上を目指し、ハード・ソフト両面から安心して暮らし続けられる**やさしいまちづくり**(やさしい社会を明石から)に取り組みます。

みんな

市・市民・事業者などが一丸となって**みんな(パートナーシップ)**で目標の達成に向けて取り組みます。

明石市の取り組み

明石市が目指すまちの姿の実現に向けて、様々な取り組みを行っています。2020年7月、市の理念や取り組みが評価され、国から県内初となる「SDGs未来都市」に選定されました。

あかし版こども食堂

食を通して、すべての子どもたちが安心して過ごせる居場所です。支援が必要な子どものサインにいち早く気付く重要な役割を担っています。



市内全 28 小学校区に 44 か所で展開中 (2021年3月時点)

認知症あんしんプロジェクト

認知症の人とその家族が住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、まちのみんなで支えるまちづくりに取り組んでいます。

【取り組み】

- ・認知症診断費用を全額助成
- ・認知症サポート給付金(2万円)の支給
- ・認知症手帳(あかしオレンジ手帳)、3つの無料券の給付
- ・認知症サポーターの拡充など



合理的配慮の提供を支援する 公的助成制度

事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成しています。



【内容】

- ・点字メニュー、コミュニケーションボードなどの作成
- ・折り畳み式スロープ、筆談ボードなどの購入
- ・手すり設置、段差解消などの工事



気候非常事態宣言

2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指し、2020年3月に、県内初となる気候非常事態宣言を表明しました。

【取り組み】

- ・家庭用蓄電池等の設置への補助
- ・市有地等への太陽光設備の設置

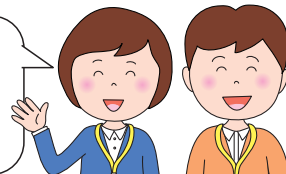


＼ 私たちにできる！ 身近なSDGs の取り組み



“世界の目標”ってどこか
遠いところの話に聞こえるけど…

遠い話ではなく、
身近にできることがあるんですよ。
いくつか紹介しましょう。



フードロスをなくそう！

食べられるのに捨てられてしまう食品
(フードロス) って聞いたことあるかな？



1人あたり年間約50kgもの食品が
家庭で捨てられています。



毎日お茶碗1杯分の
ごはんを捨ててるってこと!?

身近な取り組み

- 買い物へ行く前に冷蔵庫を確認しよう。
- 食べきれないものは冷凍しよう。
- フードドライブ※を活用しよう。

※市内のコープこうべの店舗（コープミニ
除く）では、未開封で賞味期限が1か月
以上ある食品の寄贈を受け付けています。

12 つくる責任
つかう責任



海の豊かさを守ろう！



明石の海がずっと豊かであるために
何かできることはあるの？

ごみのポイ捨てはやめましょう！



ウミガメはビニール袋をえさのクラゲと
間違えて食べてしまうこともあります。



2050年には海のゴミの量が魚の量を
上回るという予測もあるんだって！

身近な取り組み

- ゴみのポイ捨てはやめよう。
- マイバッグ・マイボトルを
活用して、ゴミを減らそう。

14 海の豊かさ
を守ろう



地元の物は地元で消費 一石二鳥の地産地消！



明石には、魚や野菜、果物など
おいしいものがたくさんあるね！

明石で作られたものを、
明石で食べる「地産地消」も
SDGsの取り組みです！



地元のものを地元で消費することで、
物を運ぶ時に発生するCO₂も
少なくできるんだね。

身近な取り組み

- 明石産の魚や野菜、果物を
積極的に食べよう。
- 商店街をはじめ、
地元のお店で買い物をしよう。

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



省エネを目指そう！



エネルギーを大切に使うことも
SDGsに関係しています。

エネルギーはいろいろなところで使われているので、
自分にあった省エネ方法を見つけてくださいね！

熱中症対策や部屋の換気も
必要だから無理しないようにね。



身近な取り組み

- 家電を買い替えるときは、省エネ製品を選ぼう。
- 部屋の明かりはこまめに消すようにしよう。
- 夏は打ち水・冬は湯たんぽなど、昔からある
方法や道具を試してみよう。
- クールビズ・ウォームビズを
心掛けよう。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ゴミを減らそう！



ゴミの処分方法や廃棄場所などが今問題になっているよね。このままで大丈夫かな？

ゴミを減らすために、5つのRを意識した行動をしましょう！



Refuse (断る)

不要な割りばしや紙ナプキンをもらわないようにしましょう。

Reduce (減らす)

詰め替え用の製品を使ってみよう。

Reuse (再使用する)

リサイクルショップ、フリーマーケット、バザーなどを利用しよう。



Repair (修理する)

壊れたものでも、捨てる前に修理を考えてみよう。

Recycle (再生利用する)

リサイクルできるものはどんどんしよう。

12 つくる責任
つかう責任



住みたい・住み続けたいまち



最近、地震や大型台風、大雨などによる災害がよく起こるね。

恐いですよね。いざという時のためにハザードマップで避難所を確認するなど、日頃から備えておきましょう！



いざという時に協力するためにも日頃からの近所づきあいは大切だね。

身近な取り組み

- ハザードマップで避難所を確認してみよう。
- 防災訓練に参加してみよう。
- 普段から地域の危ない箇所を確認しておこう。

11 住み続けられるまちづくりを



毎日を健康に過ごそう！



SDGs では、すべての人が健康で暮らせることを目指しています。

健康的な生活習慣を身につけ、免疫力を高めることは、感染症を含めた様々な病気の対策になりますよ！

身近な取り組み

うがいやマスクをすることもSDGsに貢献するんだ！

- 手洗いうがいをしよう。
- バランスのとれた食事や適度な運動、十分な睡眠を心がけよう。
- 定期的に生活習慣を確認してみよう。



3 すべての人に健康と福祉を



水を大切にしよう！



毎日の生活で、水道水をこまめに止めるだけでも節水になります。

水を1分間出さずじっとすると、約12リットルの水が流れます。1日10分だとすると1年間で43,800リットル（お風呂約150杯分）にもなります。

水を大切にすると、環境にもお財布にもやさしいんだね。

身近な取り組み

- 水道水をこまめに止めるようにしましょう。
- お風呂の残り湯を洗濯や水やりに活用しよう。
- 洗剤を使いすぎないようにしよう。



6 安全な水とトイレを世界中に



わが家の取り組みを書いてみよう！

お問い合わせ

明石市政策局SDGs推進室 〒673-8686 兵庫県明石市中崎1丁目5-1

TEL 078-918-5010(直通)

FAX 078-918-5101

✉ seisaku@city.akashi.lg.jp

2021年4月発行